

八潮市新庁舎建設工事説明会 質疑応答の概要
(令和3年9月16日(木)、令和3年9月18日(土)の2日間で開催)

質問	回答
1 新庁舎の杭の大きさ、長さ、本数はどのくらいか。	杭径 1,100～1,200 mm、長さ約 50mであり、本庁舎部分で73本を予定している。
2 現庁舎の解体工事の時も、説明会などを開催する予定か。	今のところ開催する方向で考えている。
3 かなりの数のダンプ、生コン車を通るといことで騒音が心配である。工事の作業時間が示されたが、話として現場には早めに来ると聞いている。そういったことをどこに伝えればよいか。窓口を一本化してもらいたい。	了解した。工事に関する問い合わせ窓口は、施工者（清水建設）とさせていただく。市としても、施工者との連絡を密にし、情報は常に共有のうえ対応したい。
4 工事が住宅に与える影響について、工事期間が長すぎるため、工事が終わってから確認しますというのではどうかと思う。生活に支障が出ることもあり、日常的な変化についても話が出来るようにしてもらいたい。住民との距離を密にして、窓口を作ってもらうことを要望したい。	了解した。
5 家屋事前調査の結果はどのようなものをもたらえるのか。	希望する方には市で保管している結果報告書と同じもの（写し）をお渡しする。
6 消防庁舎解体工事の時に振動があり、家の破損があった。今回の工事は大規模で、杭工事などは振動があると思う。被害が起こったら考えます、対応しますではなく、その対策をどうするのか、資料に書いてもらいたい。工事の前にどういった影響が考えられるのか示すべきである。資料にはアセスメントの視点が欠けている。	市、施工者、設計者（石本建築事務所）の3者で協議する。 ※後日3者で協議し、騒音・振動対策に関する追加説明資料を作成し、配付した。